

TOSTEM

ガレージシャッター手動外部付
本体／ガイドレール／連窓方立

取付け説明書



MAP716

- 取付けされる方に必ずお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。
掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



- 落下や倒れの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず指定のねじを指定の本数使用し、取付けてください。
 - ・本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。
 - ・ボックス引っ掛け部を天板の溝に差し込んでからねじで取付けてください。
 - ・(連窓)落とし錠ケース・サムターン・箱錠・落とし錠受け・落とし錠裏板は、必ず指定のねじを指定の本数使用して取付けてください。
 - ・(連窓)連窓方立は、必ず落とし錠受けに固定してください。
 - ・(連窓)連窓方立は、必ず上部を連窓ブラケットに差し込んでください。



- 切創等のケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。
 - ・(連窓)連窓方立切断後、切断面を必ずバリ取りしてください。



- (木造直付・鉄骨造)シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張っていることを確認してください。漏水の原因になります。

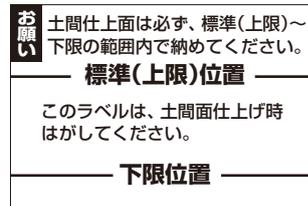
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	サイドカバーの引っ掛け部を本体固定金具に引っ掛けましたか？	<input type="checkbox"/>
2	ロックはかかりますか？	<input type="checkbox"/>

取付け上のお願ひ

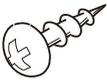
- シャッター取付け開口部の水平・垂直・対角寸法とねじれないことを確認してください。取付け開口部の精度が悪いと商品本来の性能を発揮できないばかりでなく、故障や破損の原因になります。
- 本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス(点検口)およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
- メンテナンスができなくなるので、ボックス(点検口)・ガイドレール(埋込部以外)を埋込まないでください。
- (土間埋込みタイプ)ガイドレール下部を必ず土間に埋込んでください。また、土間仕上げ面はガイドレール下部ラベルの標準位置内で仕上げてください。

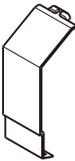
■ガイドレール下部ラベル(埋込み仕様のみ)



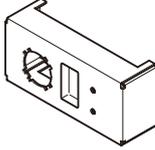
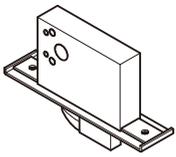
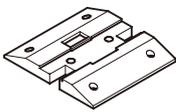
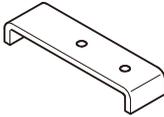
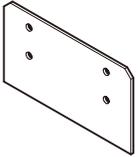
- モルタル施工の際、ガイドレールにモルタルが付着しないように指導してください。
- モルタルはくり剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
- 枠部分の組立て・取付けについてはガレージ枠同梱の「取付け説明書」をご覧ください。
- S型以外のボックスの取付けについては、「ボックス取付け説明書」をご覧ください。

■ねじ一覧表

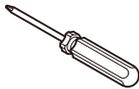
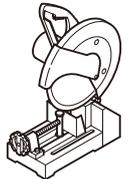
ガイドレール取付用	本体取付用	ボックス取付用
①	②	③ (ボックスS型同梱仕様のみ)
		
トラスタッピンねじ φ4×8(D9.4)	バインド小ねじ M4×12(D8.3)	バインド小ねじ (先付け)M4×10

鍵	連窓用点検口カバー
	
中間ロック用	(連窓のみ)

■連窓方立同梱部品

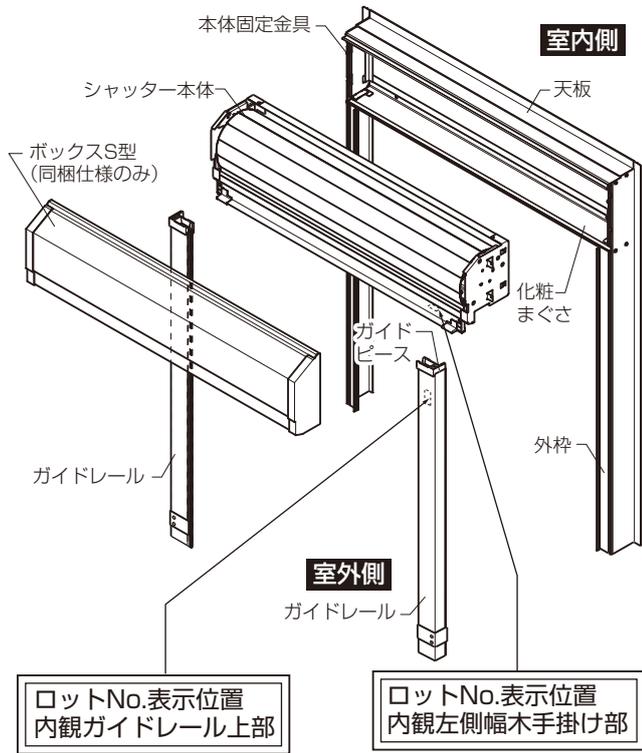
落とし錠ケース(1個)	サムターン(1個)	箱錠(1個)
		
落とし錠受け(1個)	裏錠(2個)	④
		
		皿小ねじ M4×38(2本)
⑤	⑥	台紙(1枚)
		
トラス小ねじ M4×30(2本)	コンクリートアンカーねじ φ4×32(6本)	

■取付けに使用する工具一覧

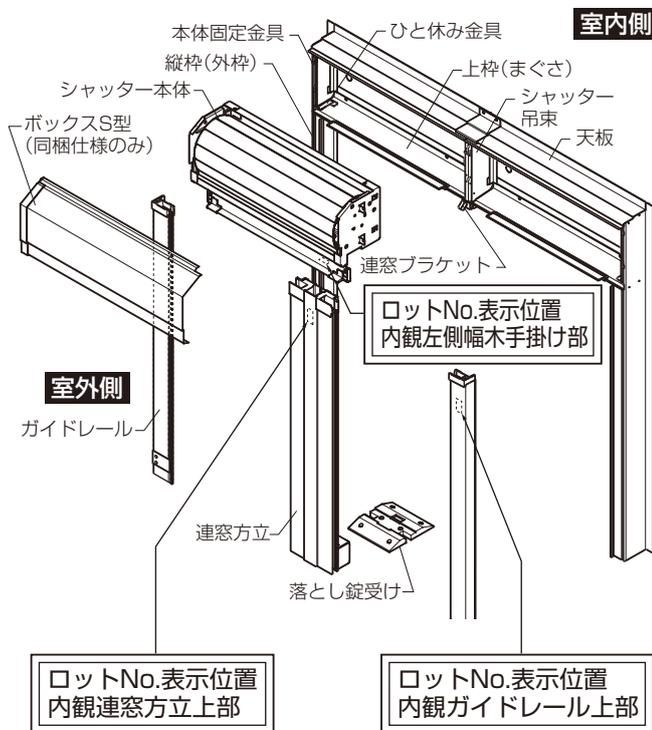
電動ドライバー	ドライバー (手回し)	ドリル刃	切断機
			
トルク調整付		・φ3.4 (コンクリート用) ・φ6.0 (連窓のみ)	(連窓のみ)

■構成図

●単窓の場合



●連窓の場合



□本体の取付け

▲注意



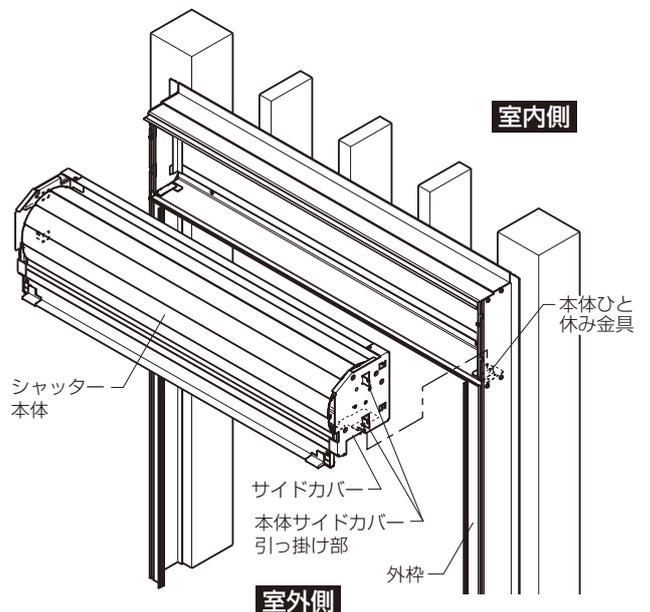
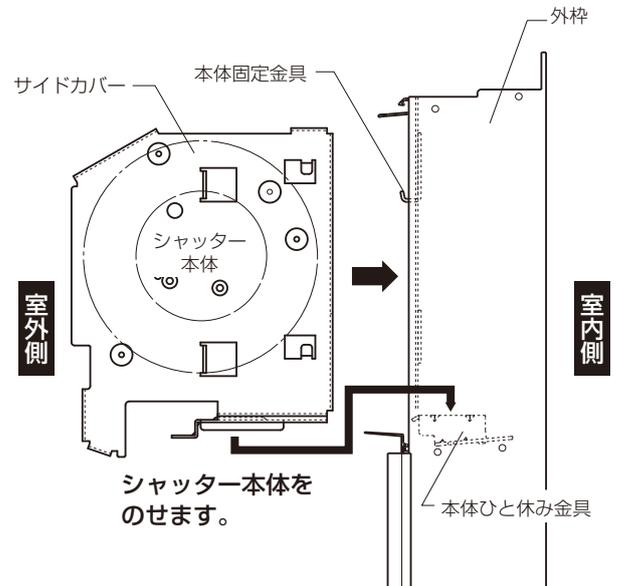
●本体取付けの際は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。



●本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。シャッター本体・シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがあります。

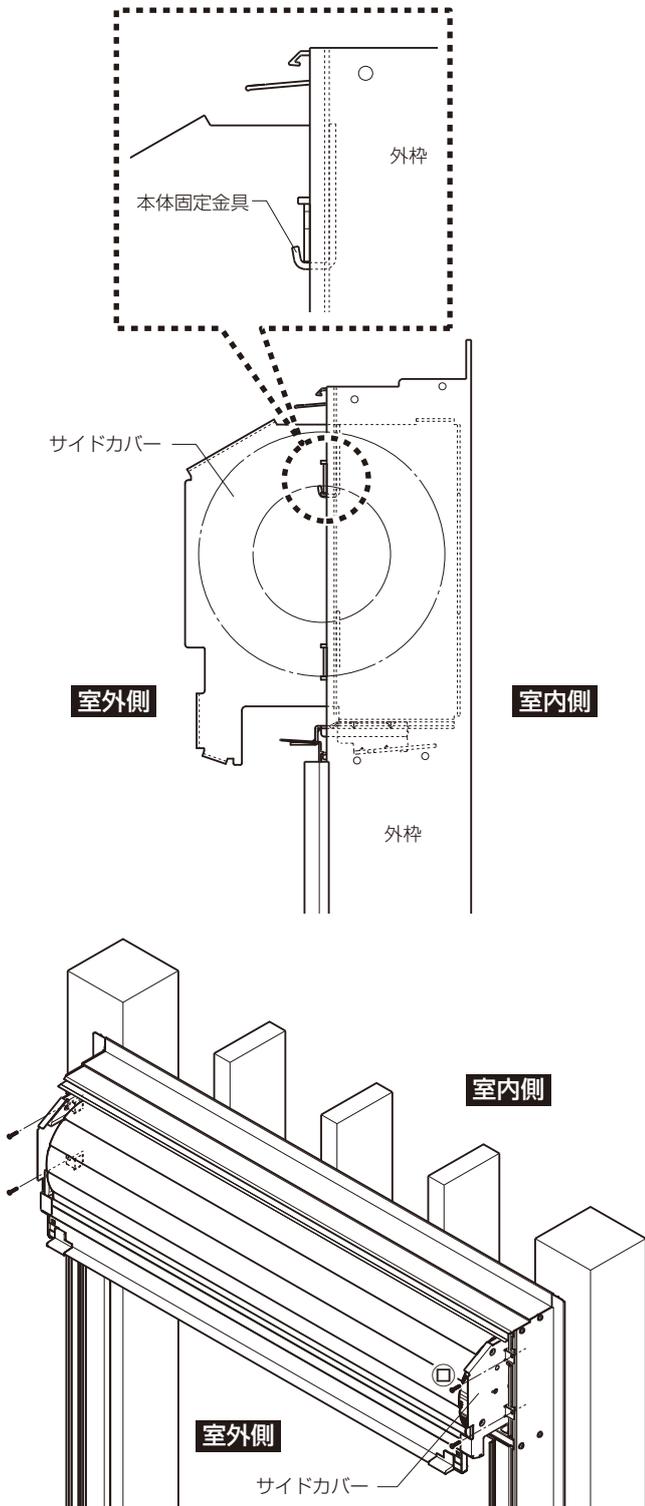


- ①シャッター本体をひと休み金具の上ののせます。
- ②本体サイドカバーの引っ掛け部が、本体固定金具に当たるまで押込んでください。
- ③本体サイドカバーの引っ掛け部を、片側ずつ本体固定金具に掛けてください。



1 本体の取付け つづき

④本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、㊸パインド小ねじM4×12でねじ止めます。

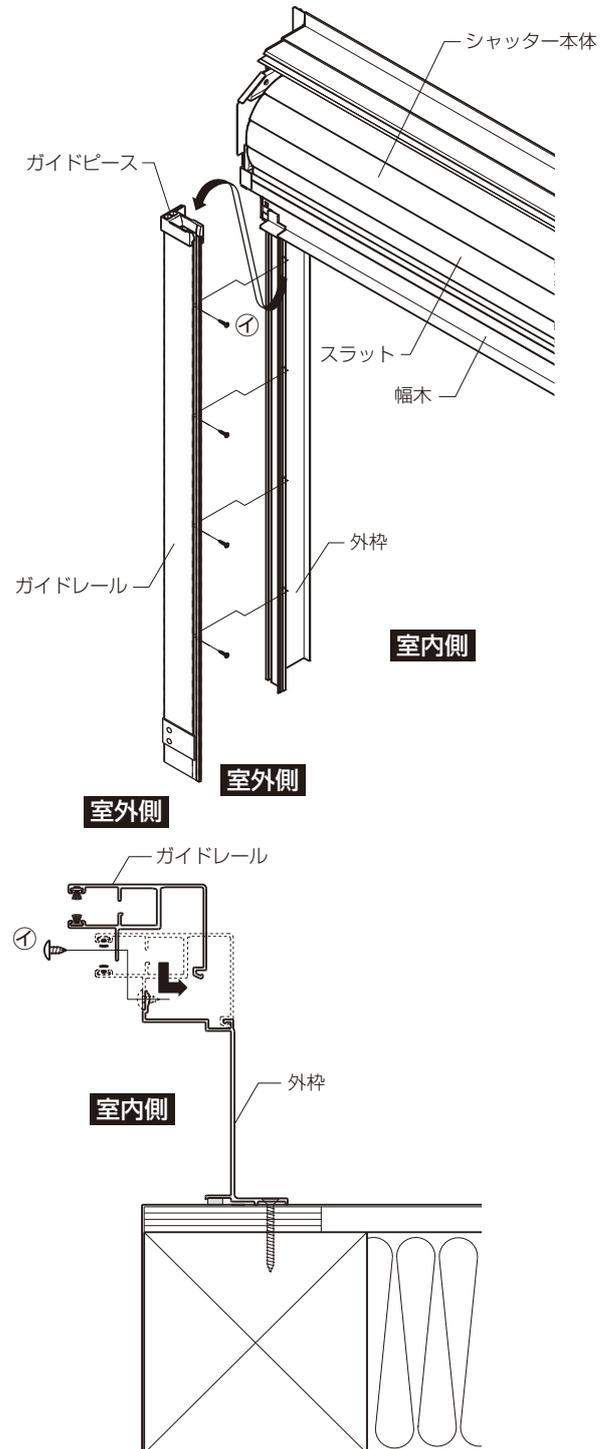


2 ガイドレールの取付け

ガイドレール取付け上のお願

●ねじ山がつぶれることがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。

- ①幅木を引下げ、ガイドレールの上端(ガイドピース側)に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入します。
 - ②ガイドレールをスライドさせ、外枠にはめ込み、①トラスタッピンねじφ4×8で固定します。
- ※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「3 スラットの横ズレの確認」を行ってください。



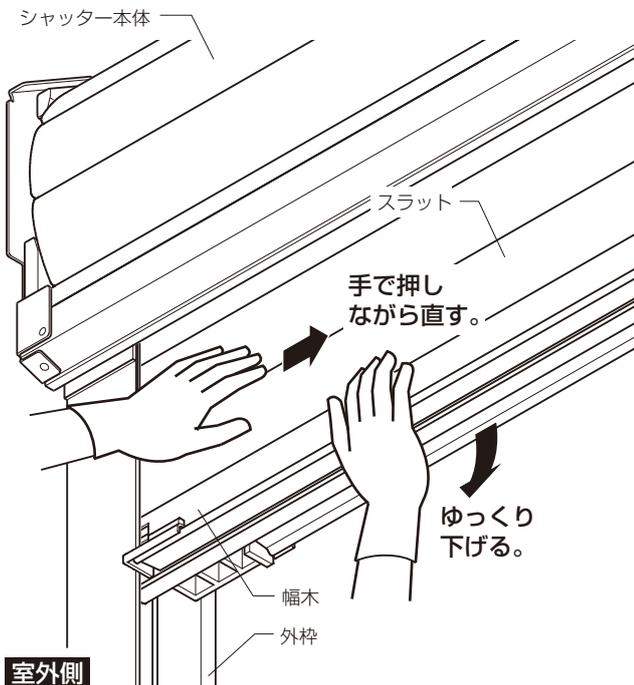
3 スラットの横ズレの確認

▲ 注意



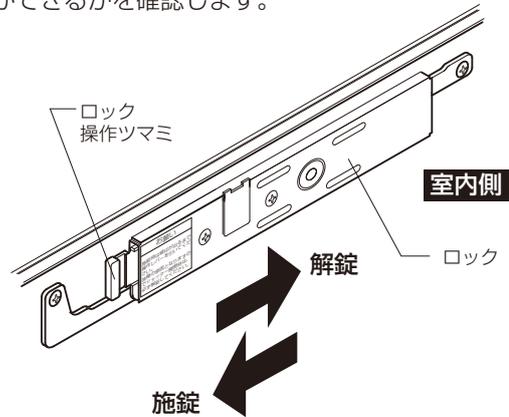
●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。

- ①幅木の中央を持ち、開口の1/3程度までスラットをゆっくり下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。
※外枠・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
- ②スラットをゆっくり上げます。



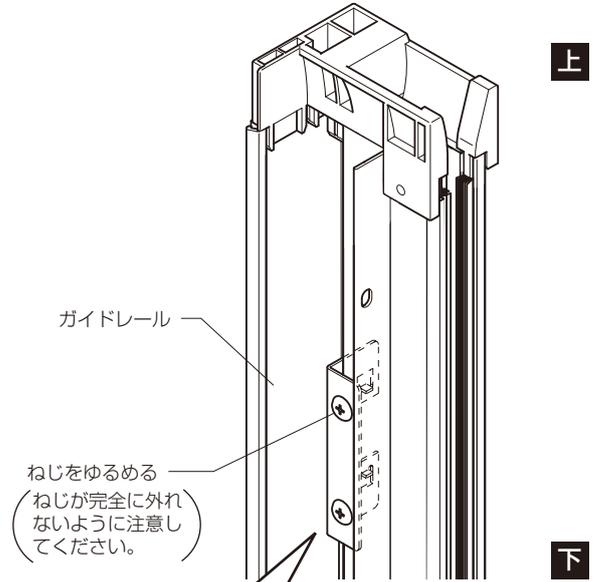
4 ロックの施錠、解錠の確認

- ①スラットをゆっくり下げて、幅木をガイドレール下部ラベルの土間仕上げ面標準位置に停止させます。(埋込なし仕様の場合は土間面に停止させます。)
- ②室内側のロック操作ツマミを左右に動かし、施錠および解錠ができるかを確認します。

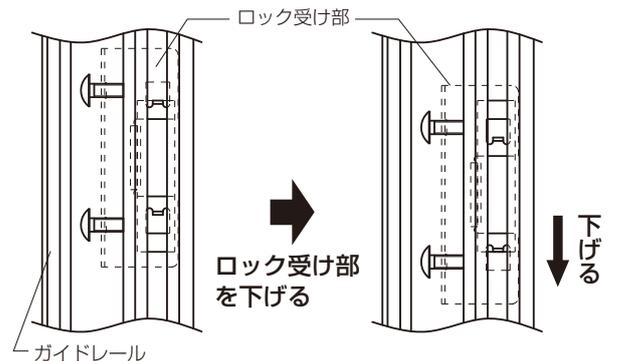


●ロック受け部調整方法

- ①ガイドレールを外します。
 - ②ガイドレール室内側面のねじをゆるめます。(ねじは完全には外さないでください。)
 - ③ロック受け部を移動します。
 - ④ロック受け部のねじを締めます。
 - ⑤ガイドレールを取付けます。
- ※ロックが掛らない場合は再度微調整してください。



●ロック受け部



5 シャッターボックスS型の取付け(同梱仕様のみ)

▲ 注意

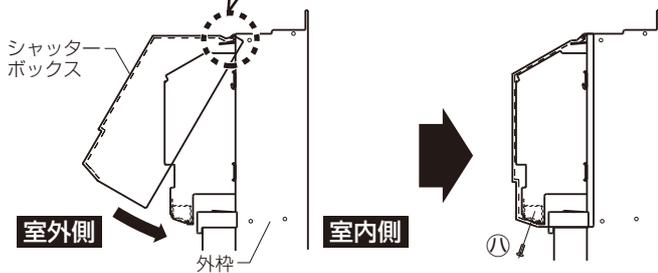
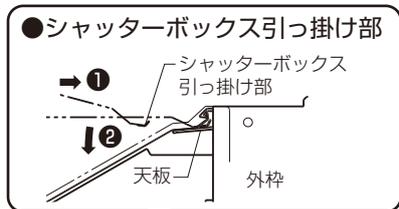
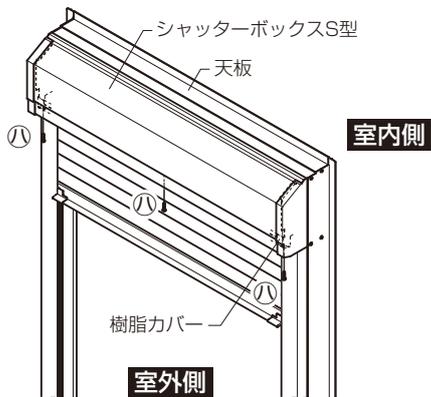


●ボックス引っ掛け部を天板の溝に差し込んでからねじで取付けてください。シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがあります。

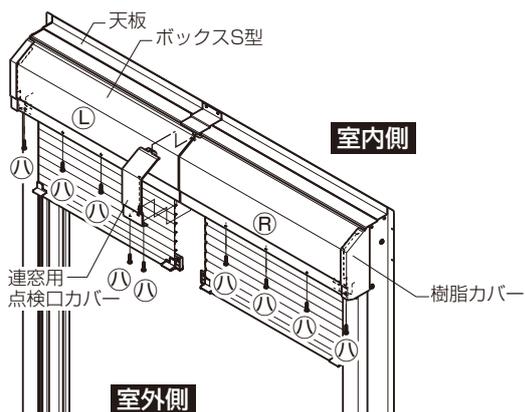


●単窓の場合

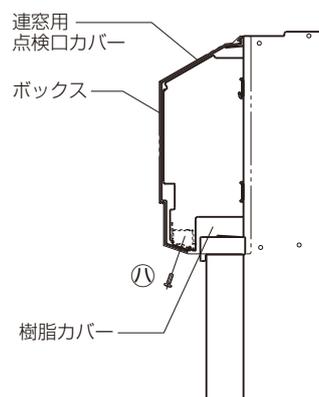
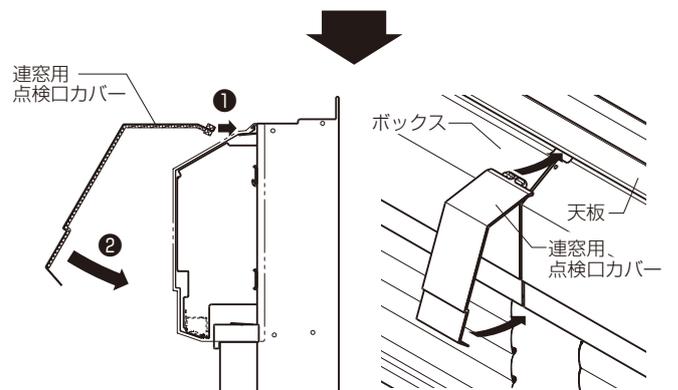
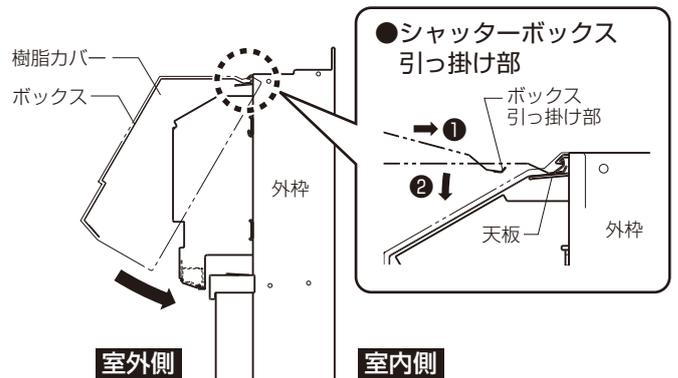
- ①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
- ②シャッターボックスの下側から本体へ ㊦ バインド小ねじ(先付け) M4×10で止めます。



●連窓の場合



- ①ボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。
- ②連窓用点検口カバーをボックスと同様に回転させるように取付けます。
- ③ボックスの下側から本体へ㊦バインド小ねじ(先付け) M4×10で止めます。
※連窓部分(中央部)は、連窓用点検口カバーも一緒にねじ止めます。
※連窓用点検口カバーの防水テープがつぶされていることを確認してください。



6 落とし錠受けの取付け

※落とし錠受けの取付けは、土間が仕上がった後に行ってください。

①W開口(ガイドレール内々寸法)を測定し、中心位置の印を土間面につけてください。連窓するシャッターが左右均等でない場合は、WR・WLから位置を出してください。

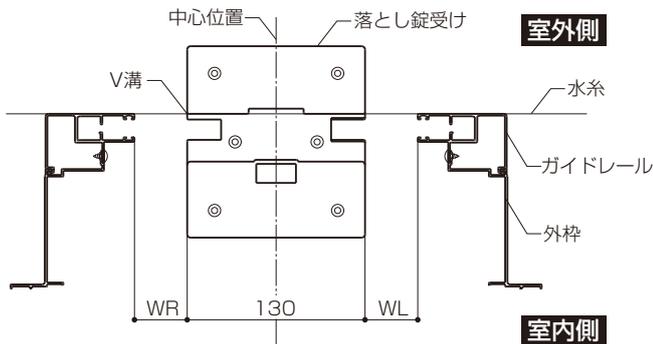
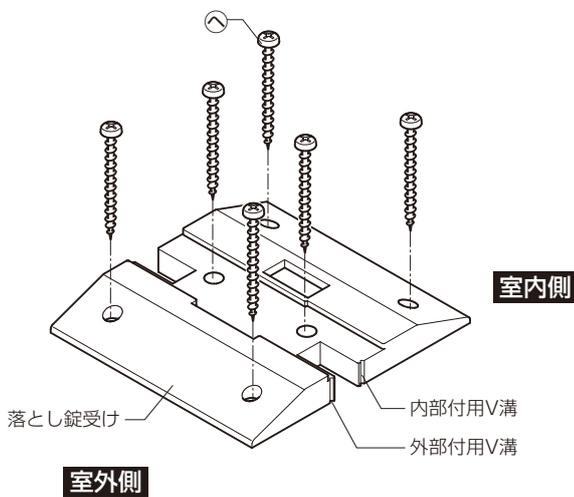
※中心位置の印は、後で消えるようにエンピツなどで書いてください。

②ガイドレールの外表面に水糸を張り、水糸と落とし錠受けのV溝の合わせ位置を決めてください。

※外部付と内部付でV溝の位置が違います。

③取付け穴(6カ所)にコンクリートドリルφ3.4で下穴(深さ35mm～40mm)をあけてください。

④㊦コンクリートアンカーねじφ4×32(6本)で、落とし錠受けを固定してください。



7 連窓方立の切断

▲ 注意



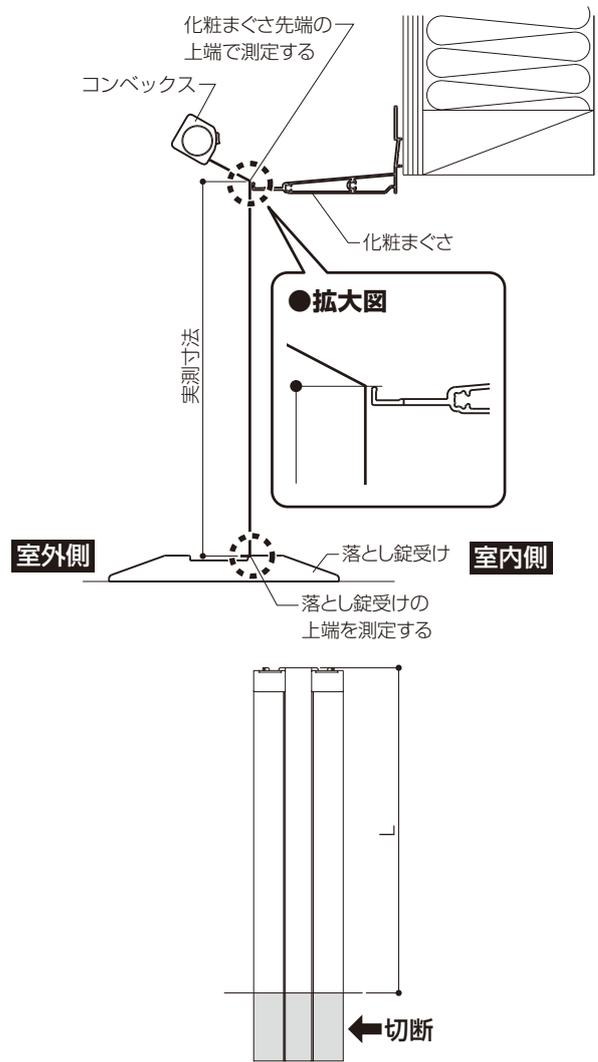
●連窓方立切断後、切断面を必ずバリ取りしてください。切創等のケガをされるおそれがあります。

①化粧まぐさと落とし錠受けの間の寸法をコンベックスで測定してください。

②下記の切断寸法公式よりL寸法を算出して、連窓方立の下端より切断してください。

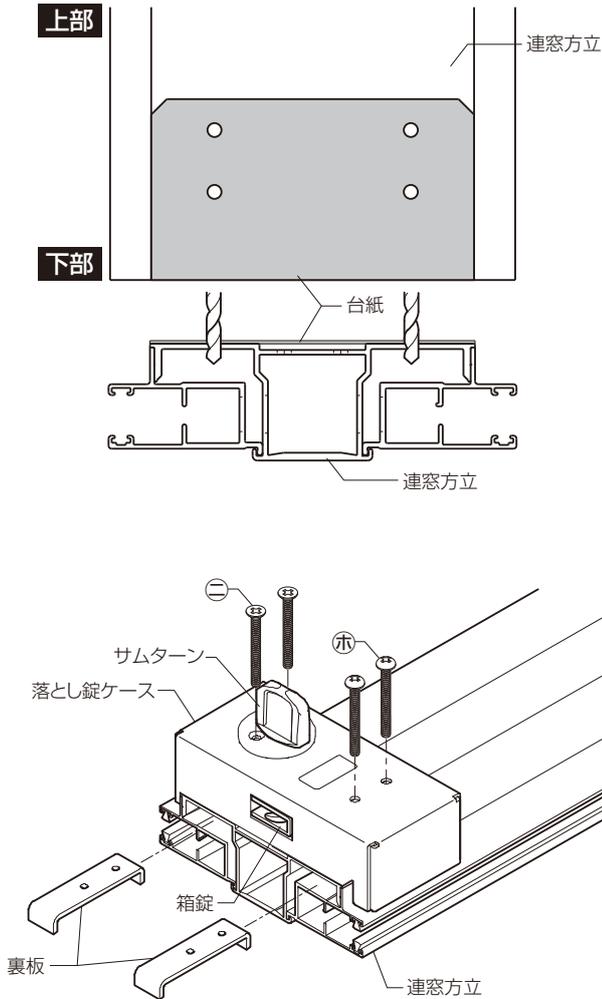
切断寸法公式

$$\text{連窓方立L寸法} = \text{実測寸法} + 14\text{mm}$$



8 落とし錠の取付け

- ①切断した連窓方立に同梱している台紙を張付け、穴位置4カ所に印を付けます。
- ②φ6ドリルで印に穴を4カ所あけます。
- ③連窓方立に裏板を2個入れ、箱錠・落とし錠ケース・サムターンをセットして、④トラス小ねじM4×30(2本)、⑤皿小ねじM4×38(2本)で連窓方立に取付けてください。
※箱錠に入っているプレートは使用しません。



9 連窓方立の取付け確認

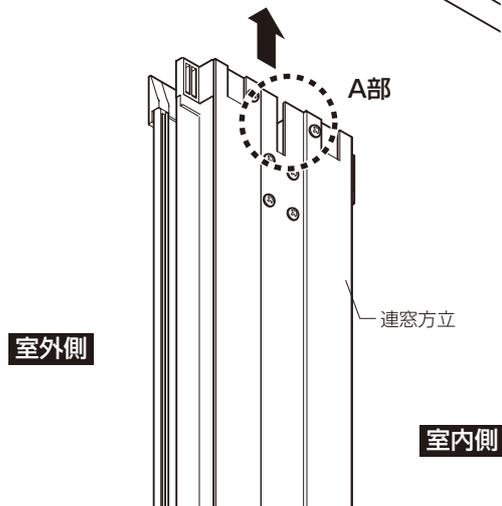
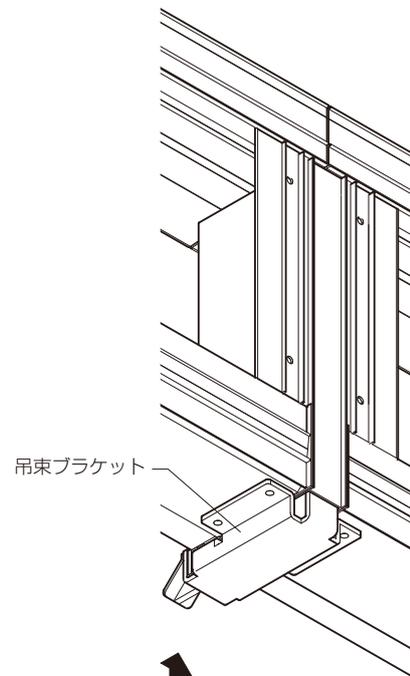
▲ 注意



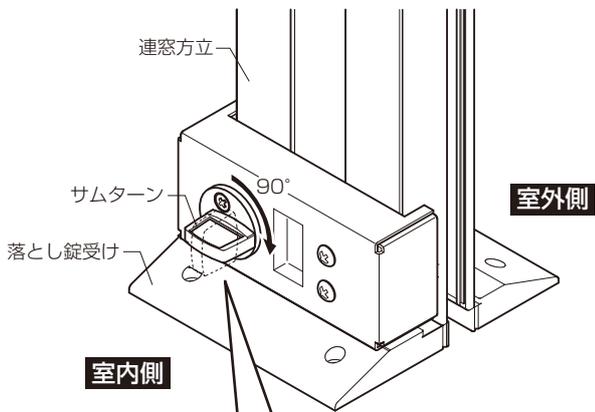
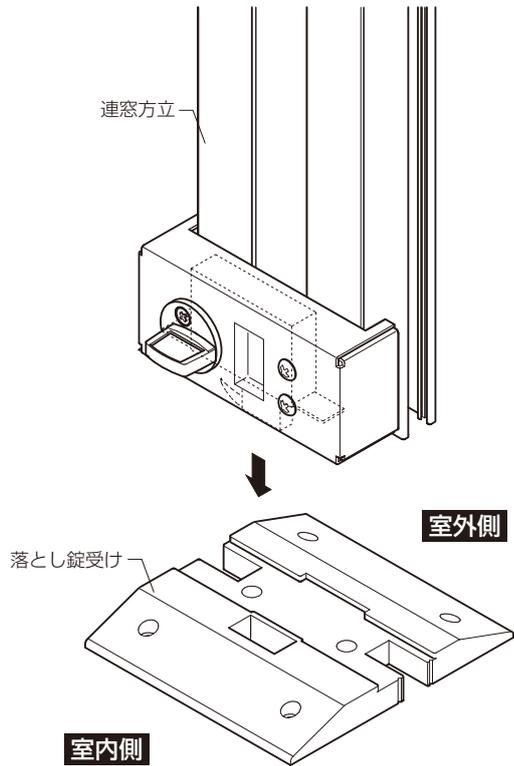
- 脱落して人身事故や物損事故のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・ 必ず落とし錠受けに固定してください。
- ・ 必ず連窓方立の上部を連窓ブラケットに差込んでください。

※連窓方立は下記の手順で取付くことを確認してからお施主さまにお引渡しください。

- ①シャッターを全開にします。
- ②連窓方立のA部の溝を吊束ブラケットに差込みます。
- ③連窓方立を持上げながら、落とし錠受けにのせます。
- ④サムターンを右回しに90°回転させ、サムターンを垂直にしてロックをかけてください。

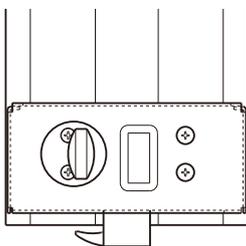


9 連窓方立の取付け確認 つづき

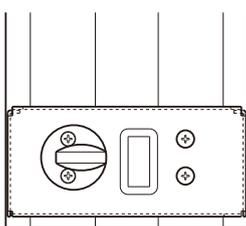


●連窓方立施錠状態

施錠



解錠



10 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。

※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



●スマホ画面

○お客さまサポート

- ▲ 安全にお使いいただくために ⊕
- ❓ よくあるお問い合わせ ⊕
- 🧹 お手入れ・お掃除 ⊕
- 📄 取扱説明 ⊕
- 🔧 調整方法 ⊕
- ⚠️ 故障かなと思ったら ⊕
- 🔧 施工説明 ⊕
- 🛒 部品購入 ⊕
- ☎️ お問い合わせ ⊕
- 🔧 修理のご依頼 ⊕
- 👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録 ⊕

MEMO

MEMO

MEMO
